



## Session Manager の設定

---

この章の内容は、次のとおりです。

- [Session Manager の概要, 1 ページ](#)
- [Session Manager の注意事項および制約事項, 2 ページ](#)
- [Session Manager の設定, 2 ページ](#)
- [Session Manager 設定の確認, 4 ページ](#)

## Session Manager の概要

Session Manager を使用すると、設定変更をバッチモードで実行できます。Session Manager は次のフェーズで機能します。

- **コンフィギュレーションセッション**：セッション マネージャ モードで実行するコマンドのリストを作成します。
- **検証**：設定の基本的なセマンティック チェックを行います。Cisco NX-OS は、設定の一部でセマンティクス検査が失敗した場合にエラーを返します。
- **検証**：既存のハードウェア設定、ソフトウェア設定、およびリソースに基づいて、設定全体を確認します。Cisco NX-OS は、設定がこの確認フェーズで合格しなかった場合にエラーを返します。
- **コミット**：Cisco NX-OS は設定全体を確認して、デバイスに対する変更をアトミックに実行します。エラーが発生すると、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。
- **打ち切り**：設定変更を実行しないで廃棄します。

任意で、変更をコミットしないでコンフィギュレーションセッションを終了できます。また、コンフィギュレーションセッションを保存することもできます。

## Session Manager の注意事項および制約事項

Session Manager には、次の注意事項および制限事項があります。

- Session Manager は、アクセス コントロール リスト (ACL) 機能のみサポートします。
- 作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。
- すべてのセッションで設定できるコマンドの最大数は 20,000 です。

## Session Manager の設定

### セッションの作成

作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure sessionname</b>	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。セッションの内容を表示します。
ステップ 2	switch(config-s)# <b>show configuration session [name]</b>	(任意) セッションの内容を表示します。
ステップ 3	switch(config-s)# <b>savelocation</b>	(任意) セッションをファイルに保存します。保存場所には、bootflash または volatile を指定できます。

### セッションでの ACL の設定

コンフィギュレーションセッションで ACL を設定できます。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure sessionname</b>	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッション コンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。
ステップ 2	switch(config-s)# <b>ip access-listname</b>	ACL を作成します。
ステップ 3	switch(config-s-acl)# <b>permitprotocol source destination</b>	(任意) ACL に許可文を追加します。
ステップ 4	switch(config-s-acl)# <b>interfaceinterface-type number</b>	インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 5	switch(config-s-if)# <b>ip port access-groupnamein</b>	インターフェイスにポートアクセスグループを追加します。
ステップ 6	switch# <b>show configuration session [name]</b>	(任意) セッションの内容を表示します。

## セッションの確認

セッションを確認するには、セッション モードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# <b>verify [verbose]</b>	コンフィギュレーションセッションのコマンドを確認します。

## セッションのコミット

セッションをコミットするには、セッション モードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# <b>commit [verbose]</b>	コンフィギュレーションセッションのコマンドをコミットします。

## セッションの保存

セッションを保存するには、セッションモードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# <b>savelocation</b>	(任意) セッションをファイルに保存します。保存場所には、bootflash または volatile を指定できます。

## セッションの廃棄

セッションを廃棄するには、セッションモードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# <b>abort</b>	コマンドを適用しないで、コンフィギュレーションセッションを廃棄します。

## Session Manager のコンフィギュレーション例

次に、ACL 用のコンフィギュレーションセッションを作成する例を示します。

```
switch# configure session name test2
switch(config-s)# ip access-list acl2
switch(config-s-acl)# permit tcp any any
switch(config-s-acl)# exit
switch(config-s)# interface Ethernet 1/4
switch(config-s-ip)# ip port access-group acl2 in
switch(config-s-ip)# exit
switch(config-s)# verify
switch(config-s)# exit
switch# show configuration session test2
```

## Session Manager 設定の確認

セッションマネージャの設定情報を確認するには、次の作業のいずれかを行います。

コマンド	目的
<b>show configuration session [name]</b>	コンフィギュレーションファイルの内容を表示します。

コマンド	目的
<b>show configuration session status</b> <i>[name]</i>	コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。
<b>show configuration session summary</b>	すべてのコンフィギュレーションセッションのサマリーを表示します。

